

遠征体験(冒険・科学・奉仕)20年後

- 現在の仕事や生き方、考え方に関係がある

96%

- 先入観や偏見を持たずに異文化に接することができる、多様性を受け入れられる
- どんなところでも生きていける、自分が耐えられる困難の限度を広げている
- 自然、社会、経済、文化の関わりへの意識
- 生きる上での哲学
- 自己の確立

**体験はなんでも教育的
というわけではない**

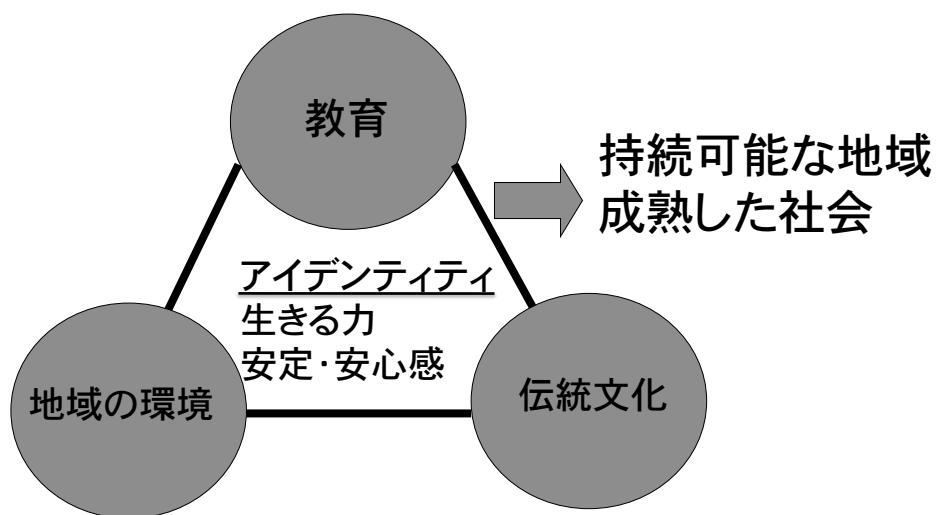
(Dewey, 1973; Hopkins & Putnam, 1993)

見えてきたこと

- 自然との関係
 - 少数民族らや大地とつながる人々の深い智恵と哲学の中に持続可能な社会へのヒント
- グローバリゼーションの功罪
 - 土地からのかい離、身体性の欠如
 - 格差、飢餓、生物多様性劣化、生物の速度を越えた速さ、希薄な生の感覚
- 地域・場の視点
 - 身体性を持つ多様な関わり
 - 自分は何者か

自然体験の大切さ
場に根ざすことの大切さ

地域に根ざした教育





教育的価値—訪問者の認識

• 暮らしそのもの

- 地に足をつけて生活することを学ぶ
- 物の大切さ、伝統知、暗黙知、身体知
- 作業を通し、暮らしや自然への理解ができる

• 自然

- 自然そのものが教育力
- 自然の力と美への敬意
- 自然の大切さと保護の必要性
- 情操教育



自然と生活、生活と労働の一体性を知る。人本来の生活力に気づく。人と自然、共生の知恵。自然の営みの一部として自分をとらえる。絶景や農作業を通して、文化を見直す。